

事業カルテ (3年度決算)

ごみ対策課

04-02-02-414

収集機材管理事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にするまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	3	資源循環社会の構築			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画、多摩市一般廃棄物処理基本計画					
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成12年度のダストボックス収集廃止に伴い、資源収集を推進するため、資源収集容器の管理、パトロール車両の管理等、個別収集開始のための器材管理を行っている。集合住宅集積所へ資源容器を設置し、衛生環境向上と資源化を、また、個別収集地域を中心にリサイクルボックスを設置し、資源化を推進してきた。資源容器に関しては、使用頻度により老朽化が進むことから、購入計画を策定し順次交換を進めている。また、リサイクルボックスに関しては、平成24年9月末で廃止した。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	機材を活用し、ごみの減量化・資源化を図り、資源の出しやすい環境づくりに取り組む。また、多摩市内のごみ排出等について日々排出指導等をする為に使用している清掃軽ダンプ車両の適切な管理を行う。
予算の執行方法	常設の資源容器等について、平成12年の導入から22年が経過し、当時購入した約3000個の容器の老朽化が進んでいるため、平成22年度から資源容器の5か年の購入計画を立て執行し、それを基に進めている計画内容を引き継ぎ、計画的に購入し適切な管理を行った。
事業の成果	資源容器を設置し、資源が出しやすい環境をつくり、清掃軽ダンプ車両等による必要な市内排出指導等を行うことにより、市民がごみの中から資源の分別を進めた。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	12,261千円	6,672千円	3,293千円	14,122千円	4,547千円	
事業にかかる実コスト	17,549千円	11,712千円	7,584千円	19,982千円	8,688千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	110千円
	一般財源	12,261千円	6,672千円	3,293千円	14,122千円	4,437千円
間接経費						
職員人件費	5,288千円	5,040千円	4,291千円	5,860千円	4,141千円	
《従事人員数》	0.60人	0.60人	0.50人	0.70人	0.50人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	市民のごみ減量・資源化を推進するため、資源容器等の管理を適正に進める(市内集積所数)	目標	2,519ヶ所	2,541ヶ所	2,557ヶ所
		結果	2,557ヶ所	2,721ヶ所	—
成果指標 (アウトカム)	資源容器等を利用することにより、ごみ減量資源化を進める(資源排出量)	目標	7,715t	7,846t	7,978t
		結果	6,810t	6,498t	—

特記事項

再任用職員による市内パトロール業務が終了したことから、軽ダンプ車両2台のうち1台を車検時期に合わせて廃車とした。*活動指標については、令和3年度以降はシステム集計値とする。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今後の 向性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的	財一 源般		
B	B	B	イ	平成12年10月のダストボックス廃止時から22年以上経過し、当時設置した大量の資源容器の老朽化が一斉に進行することが懸念される。現在、令和3年度以降についても見直しを行った購入計画を基に進めているが、今後も状況により計画見直しを行い適切な管理を進める。

<収集機材管理事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 収集機材管理実績

(1) 集積所管理実績 (ヶ所)

年度	集合住宅用	宅地分譲地内	袋小路等用
29	2305	67	130
30	2322	67	130
元	2344	67	130
2	2360	67	130
3	2513	77	131

* 令和3年度以降は、システム集計値とする。

(2) 収集容器購入実績 (円)

年度	資源収集ケース(びん用)		資源収集ケース(缶・ペットボトル用)		有害性ごみ収集ケース	
	購入数	購入額	購入数	購入額	購入数	購入額
29	120	274,752	255	2,258,280	0	0
30	120	274,752	255	2,258,280	0	0
元	0	0	255	2,258,280	0	0
2	0	0	255	2,300,100	300	1,782,000
3	0	0	399	3,598,980	0	0

(3) 旧管路収集埋設配管業務委託内訳 (円)

内容	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
旧管路収集埋設配管実施設計		—	—	—	—	—
旧管路収集埋設配管調査業務		—	2,268,000円	—	—	—

※平成17年3月 管路収集の終了

※平成24年3月 管路施設の廃止

2 旧ダストボックス置場給排水撤去工事実績

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事件数	9件	1件	0件	0件	0件
工事費用	8,665,488円	766,800円	0円	0円	0円

3 多摩市内事業所排出実態状況

ア 事業系ごみ有料指定袋購入事業所数

(事業系一般廃棄物処理依頼書の控えより算出) 398 事業所 (令和4年3月31日現在)

イ 事業所排出実態状況 (令和4年3月31日現在)

(事業所台帳システム等より算出)

(事業所)

処理種別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市収集(指定袋購入)	412	422	461	363	398
業者処理(一廃・産廃)	660	633	629	578	647
食品リサイクル	39	48	49	66	40
合計	1,072	1,055	1,090	941	1,045

4 現場作業及び排出作業状況

(件)

作業事務	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
パトロール稼働日数(日)	234	235	256	257	257
不法投棄パトロール対応件数	853	963	1411	1366	1117
不法投棄ごみ収集・処理	208	240	179	138	185
警告/注意シール・ステッカー貼	603	691	1186	1191	888
家電4品目注意シール貼	42	32	46	37	44
家電4品目回収	TV	9	8	0	0
	冷蔵庫	6	1	0	0
	洗濯機	3	1	0	0
	エアコン	0	0	0	0
バッテリー・消火器回収	消火器	0	0	0	0
	バッテリー	0	0	0	0
相談・苦情、対応・処理件数	807	621	354	351	436
収集もれ対応(直営対応)	610	474	218	226	291
資源容器関係	130	112	127	121	132
戸別訪問指導(ホステイング)	10	0	2	0	0
不法投棄等対応	29	12	6	4	13
注意看板作成・設置	4	3	1	0	0
分別読本カレンダー配布	24	20	0	0	0
事業系ごみ排出指導件数	1	0	0	0	0
その他対応件数	66	66	46	15	18

事業カルテ (3年度決算)

ごみ対策課

04-02-03-420

し尿処理事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち					
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり				
	施策	3	資源循環社会の構築				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画、多摩市一般廃棄物処理基本計画						
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和40年に業者委託によるし尿収集を開始し、平成22年度から浄化槽清掃料金軽減措置事業を統合した。公共下水道の整備により、下水道への接続の促進を行い、利用世帯数は徐々に減少している。また、災害時の仮設トイレ等のし尿への対応も考慮し見直しを行っている。						

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	し尿の収集及び処理、浄化槽汚泥の処理等を適切に実施し、衛生的な生活環境を維持する。また、汲取り便所と浄化槽による水洗便所使用者との不均衡の是正を図るとともに、浄化槽の適正な維持管理を促し、生活環境の保全及び衛生の向上を図る。なお、下水道課と連携し、供用開始区域の浄化槽削減に努める。
予算の執行方法	し尿は、委託業者及び一般廃棄物収集運搬許可業者によって収集し、多摩川衛生組合し尿処理施設に運搬して処理を行う。また、浄化槽清掃経費の一部軽減措置については、年度当初に市から対象者へ軽減証として浄化槽清掃確認書を送付し、対象者が清掃を実施した場合に清掃料金の一部を市が負担を行う。塵芥収集運搬委託に合せた債務負担行為による複数年契約のし尿収集運搬業務委託を行い、予算の適正な執行を行った。
事業の成果	287,900リットルのし尿・汚泥の処理を行い、衛生的な生活環境を維持した。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	15,769 千円	15,419 千円	16,088 千円	14,733 千円	15,334 千円	
事業にかかる実コスト	20,175 千円	19,619 千円	20,379 千円	18,919 千円	19,475 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	3,314 千円	2,823 千円	2,401 千円	2,396 千円	2,716 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	4,134 千円	4,288 千円	4,591 千円	4,435 千円	4,386 千円
	一般財源	8,321 千円	8,308 千円	9,096 千円	7,902 千円	8,232 千円
間接経費						
職員人件費	4,406 千円	4,200 千円	4,291 千円	4,186 千円	4,141 千円	
《従事人員数》	0.50 人					
その他の人件費	0 千円					

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	適正に実施することで衛生的な生活環境を維持する(し尿汚泥処理量:ℓ)	目標	391,200ℓ	378,500ℓ	372,900ℓ
		結果	278,900ℓ	287,900ℓ	—
成果指標 (アウトカム)	し尿の収集・処理及び浄化槽汚泥の処理を行い、衛生環境を保全する	目標	70世帯及び公園等仮設トイレ	69世帯及び公園等仮設トイレ	69世帯及び公園等仮設トイレ
		結果	69世帯及び公園等仮設トイレ	69世帯及び公園等仮設トイレ	—

特記事項

10月から処理手数料を引き上げた。

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	量的 的		財一 源般	し尿処理については、下水道の普及により汲み取り世帯が減少している。都内自治体全てが同様な状況であり、災害が発生した場合は、し尿汲み取り車両が不足する状況が想定される。通常時のし尿汲み取りと災害時の安定的な対応を図るため、債務負担行為による複数年契約を締結している。
B	B	B	イ	

<し尿処理事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 業務委託別実績

内容		年度						
		29	30	元	2	3		
し尿収集 運搬業務 委託	決算額 (円)	8,553,600	7,698,348	7,769,632	7,840,909	7,480,909		
	収 集 量 (リットル)	一般家庭	40,300	34,500	25,700	24,500	31,500	
		特別世帯	0	0	200	0	0	
		その他	115,700	109,200	106,500	56,000	68,500	
	合計	156,000	143,700	132,400	80,500	100,000		
し尿処理 委託	決算額 (円)	7,158,000	7,665,200	8,262,000	6,847,200	7,440,000		
	搬 入 量 (リットル)	生し尿	市委託収集分	156,000	143,700	132,400	80,500	100,000
			許可業者搬入分	97,000	93,400	84,100	82,300	83,400
			合計	253,000	237,100	216,500	162,800	183,400
	汚泥	単独浄化槽 (確認有)	6,500	13,000	13,000	14,500	0	
		単独浄化槽 (確認無)	54,500	54,500	62,300	62,400	50,600	
		合併	20,500	15,000	18,500	9,000	9,000	
		貯留層	23,400	31,800	33,950	30,200	41,400	
		合計	104,900	114,300	127,500	116,100	101,000	
	家庭雑排水	軽減措置 (有)	0	0	0	0	6,500	
軽減措置 (無)		0	0	0	0	0		
合計		0	0	0	0	3,500		
	搬入量合計	357,900	351,400	344,250	278,900	287,900		
し尿処理 手数料収 納事務委 託	決算額 (円)	21,708	20,034	20,448	19,470	17,820		
	徴収事務受託者数 (3月31日現在) (件)	10	6	5	5	5		

2 手数料

内容		年度					
		29	30	元	2	3	
し尿処理 手数料	決算額 (円)	4,106,750	4,290,400	4,565,350	4,437,900	4,359,350	
	内 訳 (円)	一般家庭	328,750	282,000	244,750	192,300	165,500
		特別世帯	0	0	7,200	7,200	0
		許可	3,778,000	4,008,400	4,313,400	4,238,400	4,193,850
浄化槽清 掃業許可 申請手 数料	決算額 (円)	30,000	0	30,000	0	30,000	
	申請件数 (@10,000円)	3	0	3	0	3	
	業者数 (3月31日現在)	2	3	3	3	3	

3 浄化槽等設置状況（3月31日現在）

※設置数は、一般世帯と事業所の合計値

(1) 有料世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
29	64	159	10	5	1	19
30	63	159	10	5	2	20
元	63	159	10	5	1	19
2	63	159	10	5	1	19
3	61	159	8	4	1	19

(2) 無料世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
29	6	7	1	0	2	2
30	6	7	1	0	2	2
元	6	7	1	0	2	2
2	6	7	1	0	2	2
3	6	7	1	0	2	2

(3) 合計世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
29	70	166	11	5	3	21
30	69	166	11	5	4	22
元	69	166	11	5	3	21
2	69	166	11	5	3	21
3	67	166	9	4	3	21

4 浄化槽清掃料金軽減措置状況

(1) 軽減対象件数

(件)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
29	2	1	0
30	2	1	0
元	2	1	0
2	2	0	0
3	2	1	0

(2) 軽減実績件数（延べ）

(件)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
29	2	1	0
30	2	1	0
元	2	1	0
2	2	0	0
3	2	1	0

(3) 収集量

(ト) (ト)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
29	3,000	3,500	0
30	3,000	3,500	0
元	3,000	3,500	0
2	1,500	3,500	0
3	3,000	3,500	0

(4) 軽減措置費

(円)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
29	20,140	15,340	0
30	20,140	15,340	0
元	20,140	15,340	0
2	10,070	15,340	0
3	20,140	15,340	0

5 浄化槽清掃料金軽減措置状況

		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
バッキ式	対象件数	2	2	2	1	2
	実施件数	2	2	2	1	2
	収集量 (ト)	3,000	3,000	3,000	1,500	3,000
	軽減措置費 (円)	20,140	20,140	20,140	10,070	20,140
腐敗式	対象件数	1	1	1	1	1
	実施件数	1	1	1	1	1
	収集量 (ト)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	軽減措置費 (円)	15,340	15,340	15,340	15,340	15,340